

第8課

<目標> 町、人、物などについて、簡単な感想が言えるようになる。
 ※形容詞（現在形のみ）を学ぶ課。

<練習 A の文型>

1. この町は きれい/おもしろい です。

[N] は [ナ形容詞/イ形容詞] です。
 [N] は どうですか。

※叙述用法の肯定文

※練習 B5 の文型（「[N] は どうですか。」に対する答え方）

「～です。そして、～です。」（例文 5）

「～ですが、～です。」（例文 4）

2. きれいじゃありません。
 たかくないです。

[N] は [ナ形] じゃありません。
 [N] は [イ形 (～~~い~~)] くないです。

※叙述用法の否定文

※いいです→よくないです

3. 奈良は ゆうめいな 町です。
 ふるい

[N] は [ナ形 (～な) /イ形 (～い) +N] です。
 [N] は どんな [N] ですか。

※修飾用法の肯定文

修飾用法の否定はやらない。

<ノート>

◎形容詞の現在形のみを扱う。過去形は 12 課で扱う。

◎活用の仕方

*イ形容詞

	肯定	否定
現在	おいしいです	おいしくないです
過去	おいしかったです	おいしくなかったです

*ナ形容詞

	肯定	否定
現在	有名です	有名じゃありません
過去	有名でした	有名じゃありませんでした

※例外 「いいです」(練習 A2)

活用：いいです、よくないです、よかったです、よくなかったです

◎学習者がよく間違える形容詞

- ・「きれい」「ゆうめい」
- ・「古い」=old?
- ・「寒い」(例文 3)と「冷たい」(練習 B8)
- ・「暑い」(練習 B1-4、問題 4)と「熱い」(練習 B3-3)

◎新出語彙

例文 3：「とても」

「あまり～くないです」

<会話> 「そろそろ失礼します」

- ・訪問した後の別れの言い方を学ぶ。
- ・「そうですね。」
- ・「いいえ、けっこうです。」
- ・「そろそろ失礼します。」
- ・「またいらっしゃってください。」

第9課<目標>好き嫌い、上手下手などの表現が使える。簡単な理由が言える。※「～は～が～です。」「から」(理由)が出てくる課。

<練習Aの文型>

1. わたしは えいがが 好きです。

[人]は [N]が 好き/嫌いです。

※形容詞述語文

※「が」

2. わたしは サッカーが 上手です。

[人]は [N]が 上手/下手です。

※形容詞述語文

※「が」

3. わたしは ひらがなが わかります。

[人]は [N]が わかります。 / わかりません。

※動詞述語文

※「が」

4. わたしは おかね が あります。

やくそく

[人]は [N]が あります。 / ありません。

※動詞述語文

※「が」

5. いそがしいです から、テレビを 見ません。

どうして～か。 … ～から。
～から～。

※「から」

※相手の誘いを断るときに使える表現 (練習C3、会話)

<ノート>

◎「XはYが(対象)Z。」の構文をとるもの
形容詞

- ▼ 好きです(P.74)/嫌いです(P.78)
- ▼ 上手です(P.74)/下手です(P.81, 問題6-6)
- ▼ 得意です/苦手です
- ▼ ほしいです(13課)

動詞

- ▼ わかります(P.74)
- ▼ できます(18課)
- ▼ 要ります(20課)

・対象を表す「が」と「を」の違い

「が」: 可能(能力)、希望、好き嫌い、上手下手、感情、感覚などの対象を示す。

「を」: 動作が及ぶ対象を示す。

◎理由の「から」

- ・初めて複文が出てくる。
- ・この課では、です/ます+から
「誕生日だから」「用事があるから」→この言い方は、20課～

◎程度を表す副詞(練習B4)

「よく」「だいたい」「すこし」 わかります

※「あまり」「ぜんぜん」 わかりません

<会話> 「残念ですが」

- ・誘いを断る表現
- ・「いかがですか。」
- ・「ちょっと…」
- ・「だめですか。」
- ・「残念です (が)」
- ・「また今度お願いします。」

第 10 課

<目標> 物や人の存在や所在について話せる。

※位置を表す言葉が出てくる。

<練習 A の文型>

1. あそこに でんわが あります。

[場所] に [N] が あります。
[場所] に なにが ありますか。

※存在文
※「に」「が」

2. あそこに やまださんが います。

[場所] に [人] が います。
[場所] に だれが いますか。

※存在文
※「に」「が」

3. スーパーの となりに 喫茶店が あります。
佐藤さん

[N/人] の [位置] に [N] が あります。

※存在文
※位置：となり、なか、まえ、みぎ

4. ミラーさんの ちは おおさかに あります。

[N] は [場所] に あります。

[N] は どこに ありますか。

※所在文

※「は」

5. ミラーさんは あそこに います。

[人] は [場所] に います。

[人] は どこに いますか。

※所在文

※「は」

<練習 A 以外の文型>

・「[N] や [N] (など)」

「古い手紙や写真 (など) があります。」(例文 4)

・「[疑問詞] + も～ません。」

「だれもいません。」(例文 3)

「何もありません。」(P.89 問題 6-4)

<ノート>

◎場所を表す名詞とともに使う助詞

「に」: 人や物が存在する場所

「で」: 行為が行われる場所

◎「います」と「あります」の違いとは?

考えてみましょう!

①山田さんがいる。

机の上に本がある。

②動物園にパンダがいる。

庭に松の木がある。

③プラットフォームに電車がいる。

駅前にタクシーがいる。

④東京ディズニーランドへ行くと、ミッキーマウスがいるよ。

⑤日本の近海には、サバやアジがいる。

魚屋に行ったら、いいアジがあったから、買って来た。

⑥人形は? ぬいぐるみは? います? ありますか?

◎存在文と所在文

・存在文「[場所] に [人・物] が います/あります。」
→ある場所に人や物が存在していることを述べる文。

・所在文「[人・物] は [場所] に います/あります。」
→ある人や物がどこに存在するのかを述べる文。

◎新出語彙「いろいろな」(練習 B2-4)

◎「あそこに男の人がいますね。」(例文 2)

◎「庭にだれがかいますか。」(例文 3)

～「だれが」と「だれか」～

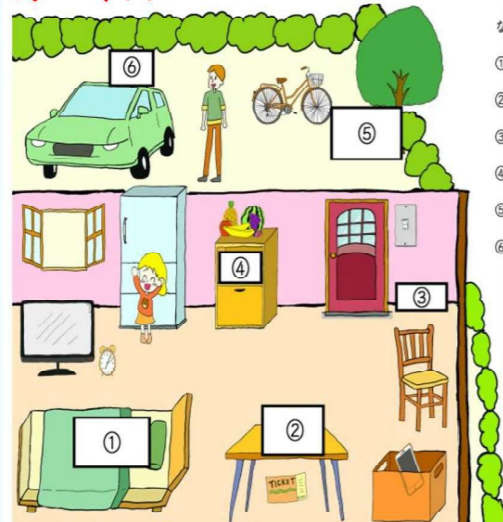
<会話>「ナンプラー、ありますか」

・道を尋ねたり、買い物をしたりする。

・「どうもすみません。」「いちばん下です。」

インフォメーション・ギャップを使った活動の例
 毎日第10課：「います／あります」

カードA



カードB



第11課

<目標>頻度、数量、人数、時間、期間が言えるようになる。
 ※数詞について学ぶ課。

<練習 A の文型>

1. みかんが いくつか あります。

[N] が [数詞 (ひとつ~とお)] あります。
 [N] が いくつ ありますか。

※数詞 = 数字 + 助数詞

※「個」「本」「杯」→40 課

※和語 (大和言葉) の数え方

(ひ、ふ、み、よ、いつ、む、なな、や、ここ、とお)

2. 80 円の 切符を 1 枚 買いました。

[N] を [数詞 (~枚/~台)] [V] ます。
 [N] を なんまい/なんだい [V] ますか。

※漢語の数え方

(いち、に、さん、し、ご、ろく、しち、はち、く、じゅう)

3. この クラスに 留学生が ひとり います。

[場所] に [N] が [数詞 (ひとり...)] います。
 [場所] に [N] が なんにん いますか。

※人の数え方

※新出語彙「います」(子供が/兄弟が/友達が)

4. 1しゅうかんに 1かい 映画を 見ます。
 かげつ 5かいぐらい
 ねん

[期間] に [数詞 (～回)] [V] ます。
 [期間] に なんかい/なんかいぐらい [V] ますか。

※頻度

5. 国で 5しゅうかん 日本語を 勉強しました。

[期間] [V] ます。
 どのくらい [V] ますか。

※期間

※新出語彙 「(日本に) います」

6. わたしの 国から 日本まで 飛行機で 4じかん かかります。

[場所] から [場所] まで [時間/期間] かかります。
 [場所] から [場所] まで どのくらい かかりますか。

※ある場所までの所要時間
 ※「かかります」

<ノート>

◎数詞 (数字+助数詞)

・この課では、「～つ」「～人」「～枚」「～台」「～回」が出てくる
 「～枚」「～台」は、数字によって読み方が変わらない

・「～本」/音が変化する助数詞 (この課ではやらないけど)

	「本」の読み方	本	杯	分
1	いっぽん	P	P	P
2	にほん	H	H	F
3	さんぼん	B	B	P
4	よんほん	H	H	P/F
5	ごほん	H	H	F
6	ろっぽん	P	P	P
7	ななほん	H	H	F
8	はちほん/はっぽん	H/P	H/P	F/P
9	きゅうほん	H	H	F
10	じゅうほん	P	P	P
何	なんぼん	B	B	P

・整理すると、
 「 P (半濁音) … 1, 6, 8, 10
 「 B (濁音) …… 3, 何

◎新出語彙

・「どのくらい」(how long) 「～ぐらい」

・「だけ」 「3か月だけですか。」(例文6)
 ※「しか+否定」→27課

・「全部で」 「全部で500円です。」(例文2)

<会話> 「これ、お願いします」

・郵便局で荷物を出す。
 ・「いい(お)天気ですね。」
 ・「お出かけですか。」
 ・「ちょっと [場所] まで。」

第12課

<目標>過去の出来事について簡単な感想が言える。身近なことについて簡単な比較ができる。 ※名詞述語文と形容詞述語文の過去、形容詞の比較級と最上級を学ぶ課。

<練習 A の文型>

1. 京都は ゆきでした。

[N] は [N/ナ形] でした。

[N] は [イ形容詞 (〜~~な~~)] かったです。

[N] は どうでしたか。

※名詞述語文、形容詞述語文の過去

2. やすみじゃ ありませんでした。

[N/ナ形] じゃ ありませんでした。

[イ形容詞 (〜~~な~~)] くなかったです。

※いいです→よかったです・よくなかったです

※名詞述語文、形容詞述語文の過去否定

3. とうきょうは おおさかより おおきいです。

[N] は [N] より [形容詞] です。

※形容詞の比較級

4. サッカーと やきゅうと どちらが おもしろいですか。
…サッカーの ほうが おもしろいです。

[N] と [N] と どちらが [形容詞] ですか。

… [N] の ほうが [形容詞] です。

※形容詞の選択疑問文と答え方

※どちらも [形容詞] です。(例文6)

※練習 C2:「熱いのと 冷たいのと どちらが いいですか。」

⇒名詞の代わりに「の」

5. スポーツで なにが いちばん おもしろいですか。

[N] で [疑問詞] が いちばん [形容詞] ですか。

… [N] が いちばん [形容詞] です。

※疑問詞: なに、だれ、どこ、いつ

※「が」

※形容詞の最上級

<ノート>

◎よくある誤用例

「すしと 天ぷらと どちらが いちばん 好きですか。」

「すしの ほうが いちばん 好きです。」

「にほんりょうりて なにを いちばん 好きですか。」

◎新出語彙「多い」と「少ない」→特殊な形容詞

普通の形容詞は「この町は 大きいです。」「大きい町です。」と両方言えるが…

叙述用法: (○)「東京は 人が 多いです。」

(○)「この道は 車が 少ないです。」

修飾用法: (×)「東京は 多い人が 住んでいます。」

(×)「この道は 少ない車が 通ります。」

4. わたしは 京都へ あそびに 行きます。 ※自動詞
 日本料理を 食べに 行きます。 ※他動詞
買い物に 行きます。 ※名詞

わたしは [場所] へ [V (～ます)] に 行きます。

わたしは [場所] へ [N] に 行きます。
 (「スル動詞」になる名詞)

[場所] へ なにを しに 行きますか。

※「に」：移動の目的

※「スル動詞」→「名詞+します」(3グループ)

新出語彙に出てくる「スル動詞」：結婚します、買い物します、
 食事します、散歩します

<練習 A 以外の文型>

・例文 5：「美術の勉強に来ました。」
 「わたしは [場所] へ [N] に 来ます。」

「美術の勉強に来ました。」→「美術を勉強しに来ました」(○)
 →「美術を勉強に来ました。」(×)

※質問の仕方によって助詞が変わる

[場所] へ 何の [N] に 来ましたか。

[場所] へ 何を しに 来ましたか。

・「どこか [V] ますか。」「何か [V] ますか。」
 「冬休みは どこか 行きましたか。」(例文 6)

「何か 飲みたいですね。」(練習 C 2)

※新出語彙「どこか」「何か」

「だれか」(31 課)、「いつか」(27 課)

会話例)

A：「B さん、冬休み、どこか 行きましたか？」

B：「はい、行きました。」

A：「どこへ行きましたか？」

B：「京都へ行きました。A さん、どこか 行きましたか？」

A：「いいえ、どこも行きませんでした。家にいました。」

・「何もしたくないです。」(例文 3)

<ノート>

◎「ほしい」(感情形容詞)

感情形容詞：感情、感覚などを表す。例) 楽しい、悲しい、さびしい

・人称制限がある：1 人称のみ OK。

例) 1 人称：わたしは 嬉しい。⇒ ○

3 人称：トムは 嬉しい。 ⇒ ×

トムは _____。⇒ ○

2 人称：あなたは 嬉しい。 ⇒ ×



・「V たいです」も「ほしいです」同様、人称制限がある。

※ [N] をほしがる、[V (～ます)] たがる→『中級へ行こう』第 3 課

◎新出語彙

・「おなかがすきました」(練習 C 2)

※「おなかがいっぱいです。」(20 課)

・「公園を 散歩します。」

<会話> 「別々にお願いします」

・レストランでの注文ができるようになる。

・「ご注文は？」

・「少々お待ちください。」

・「別々にお願いします。」

・「わたしはてんぷら定食。」